

授業科目 (英名)		情報リテラシー (Information Literacy)			授業科目コード		NN105126J	
					科目責任者		坂田 信裕	
1単位		必修	講義・演習		15時間	1学年 1 Semester 基礎科目		
[授業の概要] 高度情報化社会において、情報を処理し活用する基礎的能力を高めるために、適切な情報の検索、入手、情報手段を自主的に選択し活用していくための基本的な知識について学修する。								
[授業の目的] 適切な情報の検索、入手、情報手段を自主的に選択し活用していくための基本的知識を身につける。 (主体的学習能力を身につけ、看護の発展や質の向上に貢献できる)								
[到達目標] 1.医療・看護の情報化およびSociety 5.0を含む社会的な変革の概要について説明する。 2.適切な情報・データの入手方法・取り扱いについて、医療・看護における特色を理解し、説明する。 3.医療・看護における情報倫理や情報セキュリティについて、対応を含めて理解し、学生生活の中で活用する。 4.人工知能、IoT、ロボット等を活用した新たな医療・看護について利点と課題点、現状と今後を説明する。								
回数	月	日	曜日	時限	授業計画	授業外学習		担当者
						事前学習・事後学習	時間	
1	5	19	水	3	【講義・演習】ガイダンス・情報化社会と Society 5.0 授業の概要を説明する。 情報化社会および今後の Society 5.0の示す社会変革の概要を知り、この授業科目の意義を理解する。 現状の情報化および今後のAI、IoT、ロボット等の活用、データ駆動型社会について知る。	事後学習:授業中に学んだことの概要をLMSから提出する。	30分	坂田 信裕 山下 真幸 坂東 宏和 上西 秀和
2	5	26	水	3	【講義・演習】データを守る上での留意事項・レポート(論文)執筆の基礎 医療情報等、様々な情報を適切に扱う方法を知る。 レポート・論文等の基本的な体裁/ルールを知る。 参考文献等を適切に明示できるようにする。	事前学習:LMSに掲載されているMicrosoft Wordの基本的な操作を確認するための課題を行う。 事後学習:授業中に指定した体裁で「自己紹介」を行う文書を作成する(途中までで良い)。	30分	坂東 宏和 坂田 信裕 山下 真幸 上西 秀和
3	6	2	水	3	【講義・演習】情報の信頼性と情報検索・医療と看護における情報・データを扱う上での留意事項 情報の信頼性を考慮した、適切な情報検索の方法を知る。 個人情報保護、忘れられる権利等について理解する。 ヘルスリテラシーを中心に医療と看護における情報について理解する。 統計情報を正しく理解する方法を知る。	事前・事後学習:授業中に指定した体裁で「自己紹介」を行う文書を完成させる。	30分	
4	6	9	水	3	【講義・演習】コンピュータセキュリティ・情報セキュリティ 学生生活に必須であるコンピューター利用における注意点を理解する。 ウイルス等の脅威を知り、自らのコンピューターを守る事ができる。 データ駆動型社会、AI活用環境における情報セキュリティについて知る。	事前学習:予習用としてLMSに掲載されている事前資料を読み、内容を理解する。 事後学習:授業内で理解した内容をレポートとしてまとめる。	30分	上西 秀和 坂田 信裕 山下 真幸 坂東 宏和
5	6	16	水	3	【講義・演習】情報リテラシーと個人情報 個人情報など、データ・情報漏洩のもらすリスクとその予防策・対応策について知る。 医療情報・患者情報やデータの取り扱い、考え方、倫理、規則などについて知る。 情報やデータをICT環境、AI等で扱う上での留意事項(ELSI、AI社会原則等)について知る。 自らの情報発信であるSNS(Social Networking Service)の利用等における注意点を理解する。	事前学習:予習用としてLMSに掲載されている事前資料を読み、内容を理解する。 事後学習:授業内で理解した内容をレポートとしてまとめる。	30分	
6	6	23	水	3	【講義・演習】著作権等の法律とルール・マナーと電子情報 著作権等の法律やガイドライン、ルール、マナーを理解し、著作物等を適切に利用できるようにする。 電子情報及び電子情報媒体物の著作権と私的利用等について理解する。	事前学習:予習用としてLMSに掲載されている事前資料を読み、内容を理解する。 事後学習:授業内で理解した内容をレポートとしてまとめる。	30分	

回数	月	日	曜日	時限	授業計画	授業外学習		担当者
						事前学習・事後学習	時間	
7	6	30	水	3	【講義・演習】医療における情報化・テクノロジーの展開 病院情報システム等を含む情報システムについて理解する。 AI、IoT、ロボット等の新たなテクノロジーの展開と医療・看護の関係について知る。 データサイエンスの活用と医療・看護の関係について知る。	事前学習:予習用としてLMSに掲載されている事前資料を読み、内容を理解する。 事後学習:授業内で理解した内容をレポートとしてまとめる。	30分	坂田 信裕 山下 真幸 坂東 宏和 上西 秀和
8	7	14	水	3	【講義・演習】情報リテラシーのまとめ 医療・看護と情報リテラシーについて再確認する。 AI、IoT、ロボット等の新たなテクノロジー活用とデータ駆動型社会への変革について再確認する。	事前学習:予習用としてLMSに掲載されている事前資料を読み、内容を理解する。 事後学習:授業内で理解した内容をレポートとしてまとめる。	30分	

<p>[成績評価と基準]</p> <p>定期試験(60%)、課題(30%)、授業参加状況(リフレクションの記述内容等・10%)を総合的に評価する。 課題の具体的な内容および提出期限(原則として1週間後)については、各回の授業中に指示する。また、LMSに同様の内容を提示する。 授業時は、授業の進行に合わせて、コンピューターやタブレット端末の操作、グループワーク、ディスカッション等を含む形態で行う。 出席および遅刻については、看護学部の基準に基づき判定する。</p>
<p>[履修上の注意]</p> <p>授業の中でiPad(もしくは電子教科書対応のタブレット端末)を利用するので、毎回持参すること。なお、基本的なiPad(タブレット端末)の利用方法を理解していることを前提とする。 LMS(学習・授業支援システム)を活用した授業である。事前学習および事後学習が必要になるので、必ずLMS上の課題情報を把握すること。 授業は、グループワーク、ディスカッション等を含む形態で行うため、事前・事後学習への取り組みと、授業への積極的な参加が求められる。 看護学生・看護師として必要な情報リテラシーおよび今後のAI等を活用する社会変革への対応を意識した考え方を身に付けられるよう自発的に取り組むこと。</p>
<p>[教科書]</p> <p>医学書院 系統看護学講座 看護情報学(電子教科書のみ) noa出版 情報倫理ハンドブック(教科書のみ)(入手方法は授業中に説明する)</p>
<p>[参考書・参考資料]</p> <p>必要な参考資料等は、基本的にLMSを利用して提供する。</p>
<p>[質問への対応(オフィスアワー・E-mail)]</p> <p>質問は、授業中および授業終了直後等に適宜対応する。 授業時にLMS上で記載するリフレクションまたは質問箱を介しての質問等について、次回授業までを基本に対応する。 また、情報基盤センター(教室棟1階A101室、または、A105室)で随時受け付ける。原則として平日の9時～17時で対応するが、状況によっては別途時間を調整する。 電子メール(johocls@dokkyomed.ac.jp)を利用した質問の場合は、教員が受信後、質問内容を確認し、適切な方法により対応する。</p>
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、情報リテラシー演習科目と合わせて、本学の「教理・データサイエンス・AI教育」のリテラシーレベルのプログラムとして位置付けている。 ・講義資料は事前にLMSに掲載し、学生の学修状況を確認する。 ・演習時は、与えられた課題に基づいて小グループでディスカッションを行い、各々の意見を発表し合う。 ・講義内でLMS等を用いて学生の理解度を確認し、補足説明をする。 ・講義内で実施した小テストやLMSに挙げられた質問について、講義・LMSなどで回答・解説する。 ・成績評価の結果は、「授業評価の回答および成績評価の講評」に記載しフィードバックする。 ・この授業は、外部公開可能な情報を元に外部評価を含めた改善への取り組みを行う。